

審査講評

第1部 絵 画

【審査員】 杉森 企観明（すぎもり きみあき）

《一水会運営委員、新潟県美術家連盟理事》

最近ではどの市展でも出品作品の減少が有りますが、魚沼市展の出品者は多く感じます。

出品者の作品を見ていますと全体にレベルの高さを感じます。どこの市展も同じですが、若い人たちの出品の増加を期待しています。

◎魚沼市展賞

・「下田の里春近し」 阿部 悟

冬の雪山の風景で構図が力強く良い。描写力も感じられ雪の白さが美しい作品になっている。これからもがんばってほしい。

◎魚沼市文化協会長賞

・「花に聞く」 若井 満知子

人物の描写が良く出来ている。バックとのとけ込みが自然で色彩がきれいだ。人物はむずかしいのでデッサンの勉強はこれからも続けてほしい。

◎20周年記念賞

・「白蓮」 桜井 明子

全体的に色彩の美しさを感じる。人物・花・ちょうのバランスが良いと思う。もう少し力強さがあると良かった。

◎新潟日報美術振興賞

・「待春の里 2024」 皆川 捷巳

全体に落ちついた色彩でまとめた作品になっている。手前の大きい木が有ることで画面に変化をもたらしている。良い作品になっている。

◎奨励賞

・「雨に咲く」 森山 芳美

水彩画の技法がうまく使われていて良い絵になっているが、もう少し絵の力強さがあるともっと良くなる。

◎奨励賞

・「公園」 行方 洋子

公園の中の光の美しさを求めようとしたのが良くわかる。木々の間にももっと光を表現すると良くなる。

第2部 書 道

【審査員】 佐藤 海雲（さとう かいうん）

《独立書人団評議員、全日本書道連盟正会員、県展無鑑査》

コロナ禍から少しずつ平時の生活にもどって来ており、展覧会の案内状が多く届くようになって来ました。書を志している人達の作品制作も熱が入って来たように思います。魚沼展の作品を見せて頂きました。線質や運筆、変体仮名や草書のくずしに問題のある作品があり、良く調べることも必要な作品もありました。もう少し頑張ると良くなる作品が多かったように思います。作品は、題材の選択、墨色、構成等を良く考え、客観的な事も考えて、早目に取りかかるようにしたいものです。多くの人の出品を期待します。

◎魚沼市展賞

・「星と稲の訓」 坂大 優一

力感があり、表装の工夫をこらし、見る人に充分にインパクトを与え、見応えある作品とした。

◎魚沼市文化協会長賞

・「臨 針切」 稲場 千帆

筆よく立ち、緊張感を保ち、線の細・太、連線を駆使し、線が凜として空間に響きをもたせている。

◎20周年記念賞

- ・「宝井其角の句」 上村 初美(美秀)

潤渴の変化、文字の大小、線の細太、布置を工夫し、明るくうまく纏めた。

「猫」の字と「くんず」が少し読みづらい。

◎新潟日報美術振興賞

- ・「亘古通今」 横山 さと子(妙華)

金文の素朴さと暖か味のある雰囲気、重厚な線でうまく表現した。

◎奨励賞

- ・「臨 薦李直表」 木原 暖心

古典の特徴をよく捉え、落款も含めて見事に表現した。線質的には今一步だが、日頃の鍛錬で充分よくなって行くと思う。今後に期待したい。

第3部 写 真

【審査員】 山口 冬人(やまぐち ふゆと)

《JPS日本写真家協会会員、新潟県美術家連盟常務理事》

今回が2年目の審査となりました。総体的には私の好きな作品や技術の高い作品が沢山有りました。上位に上がるのは僅かな違いで、個性的な作品を選びました。近隣の市町村には色々な被写体がある。何度も足を運び他の人と少しでも違う目線で作品にすることで上位に選ばれると思います。

◎魚沼市展賞

- ・「お帰りなさい」 星野 正昭

降雪の夕暮れにストロボの光を入れることで幻想的な作品に仕上がった。時間帯が良かったことで列車も駅舎もそして濡れた路面の反射もきれいに写し込まれた。ポイントになるのが一人の少女で、細かな雪がスポットライトの当たるような描写なので市展賞に選びました。

◎魚沼市文化協会長賞

・「霧に舞う朝光」 外山 和子

放射冷却現象で発生した霧に朝日が当たり、見事な斜光が発生した。露出が良かったので霧が白く飛ぶこと無く仕上がった。

◎20周年記念賞

・「視線」 黒田 登美子

山古志の角突きか。牛のアップの写真は沢山見ている。この作品は題名通り沢山の観客とカメラマンが主役になる。全体に二分割構成にまとめたことで成功した。

◎新潟日報美術振興賞

・「童心に帰って」 和田 恒夫

路面に落書きをする仕草がモノクロにしたことで派手さが無くて良かった。女性のやらせに見えるのが気になったが、でもタイトル通りなのでこれで良しとした。

◎奨励賞

・「刀匠入魂」 岩渕 邦夫

画面全体に火花の散るさまが刀匠の力強さを感じた。作業場の空間も程良い明るさでまとめられた力作です。

◎奨励賞

・「滝雲躍動」 和田 正之

枝折峠の滝雲は沢山見ているが、引き気味の画面構成は少ない。渦を巻くような霧は迫力がある。朝日が当たることで立体感がでた。

◎奨励賞

・「霧虹のアーチ」 山田 庸子

この作品には静と動が上手く構成されている。手前の湾曲した雪原と霧の奥にある稲木の位置が良かった。

出品者数等

部 門	出品者数 ()はうち高校生	出品点数 ()はうち高校生	入賞・入選点数 ()はうち高校生
第1部 絵 画	37 (0)	41 (0)	41 (0)
第2部 書 道	22 (8)	22 (8)	22 (8)
第3部 写 真	30 (0)	55 (0)	55 (0)
合 計	89 (8)	118 (8)	118 (8)

【前回】 ※出品者数 98人 ※出品点数 130点 ※入賞・入選点数 130点